



サクロ・モンテ群の礼拝堂装飾の全容解明に向けて

～サクロ・モンテの劇場～

研究シーズ概要

本研究は、2018年度から4年間、イタリア北西部の主要なサクロ・モンテの礼拝堂装飾の全体像と、装飾に携わった芸術家たち(彫刻家や画家)の全体的把握、また彼らのサクロ・モンテ間の移動の有無、影響関係等を解明し、解明結果をできる限り視覚的、図式的に明示することを目的としています。

同目的達成のため、2018年度はピエモンテ州のヴァラッロとモントリゴネ、2019年度は同州のクレアとオルタ、ベルモンテ、オローパなどで調査を行いました。2020年度はピエモンテとロンバルディア両州のドモツソラ、ヴァレーゼ、グィッファなど、2021年度はロンバルディア州のオッスッチョとチェルヴェーノの礼拝堂装飾調査・撮影と、フィレンツェにおける最終の文献閲覧・収集を実施する予定です。



利点・特長・成果

本研究は、アルプス南麓の主要なサクロ・モンテの礼拝堂群装飾の全体像と、装飾に携わった芸術家(彫刻家や画家)たちの包括的把握や移動の有無、影響関係等の解明と図式化を目的としています。また、本研究は、サクロ・モンテごとに個別に紹介・研究されてきた礼拝堂群の装飾家たちを、「サクロ・モンテの芸術家(工房)」という視点で包括的に捉え直そうとする点に独自性があります。さらに、芸術家たちのサクロ・モンテ間の移動の有無や芸術家同士の影響関係の有無を包括的に把握し、視覚的、図式的に示すことで、サクロ・モンテ間の装飾上の影響関係を明確にするとともに、イタリア北西部の近世美術の担い手たちに光を当てようとする点に創造性を有しています。

その他の研究シーズ

■「南蛮美術・文化」、「キリシタン信仰具・文化」、「ルルドの聖洞窟模型」、「熊本の美術・文化財」など

キーワード サクロ・モンテ、彫刻、壁画、北イタリア、ルネサンス、マニエリスム、バロック

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	技術相談	共同研究
施設機器の利用	研究者の派遣	技術シーズ 水平展開

開発段階

5 第5段階 製品・サービス化(試売/量販)段階	2 第2段階 試作(ラボ実験レベル)段階
4 第4段階 ユーザー試用段階	1 第1段階 基礎研究・構想・設計段階
3 第3段階 試作(実証レベル)段階	

SDGsの目標

4 質の高い教育を
みんなに

